

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月29日

上場会社名 株式会社 日阪製作所

上場取引所 東大

コード番号 6247 URL <http://www.hisaka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村上 壽憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 小西 康司

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 06-6201-3532

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	18,998	△29.5	1,361	△62.6	1,531	△61.0	434	△42.5
21年3月期第3四半期	26,936	—	3,641	—	3,929	—	754	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	13.36	—
21年3月期第3四半期	23.22	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	46,940	40,035	85.3	1,232.40
21年3月期	55,270	39,995	72.4	1,231.00

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 40,035百万円 21年3月期 39,995百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	16.00	—	14.00	30.00
22年3月期	—	12.00	—		
22年3月期 (予想)				12.00	24.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△28.8	1,600	△66.1	1,800	△64.1	600	△62.5	18.47

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	32,732,800株	21年3月期	32,732,800株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	247,139株	21年3月期	242,345株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	32,488,246株	21年3月期第3四半期	32,499,879株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により予想数値と異なる可能性があります。詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)におけるわが国経済は、世界同時不況の混乱から各国の景気刺激策により落ち着きを見せつつあるものの、企業収益、雇用情勢が厳しいことを背景に、設備投資や個人消費が低調に推移し、更に円高やデフレスパイラルが進行し、それに追い討ちをかけるようにドバイショックの発生と、景気の二番底を懸念する状況となりました。

このような経営環境の中、当社では長期的な視点に立ち、グローバル化の促進、国内新市場の開拓、重点市場への営業強化と新製品開発、生産効率の向上、コストダウンに取り組みましたが、設備投資の抑制、デフレによる製品価格の下落、棚卸資産の収益性低下に伴う評価損の計上などにより、期初計画値を大幅に下回る状況となりました。

また遊休状態でありました淀川工場の解体を決定したため、特別損失として固定資産除却損を計上いたしました。

以上の結果、受注高は12,805百万円(前年同期比60.4%)、売上高は18,998百万円(同70.5%)となりました。営業利益は1,361百万円(同37.4%)、経常利益は1,531百万円(同39.0%)、税引後四半期純利益は434百万円(同57.5%)となりました。

また、全社の輸出売上高は7,198百万円(同145.3%)、輸出売上比率は37.9%(前年同期18.4%)となっております。使用総資本は46,940百万円(前期末比84.9%)、うち自己資本は40,035百万円(同100.1%)で、自己資本比率は85.3%(前期末72.4%)となりました。

各部門別の状況は、次の通りであります。

『熱交換器事業本部』

PHE部門(プレート式熱交換器)では、受注環境は国内の設備投資において一部の機械金属、半導体業界で回復の兆しはあるものの全体的には低空飛行が継続している感があり、依然として厳しい状況が続いています。前期まで好調であった船舶向け受注も世界同時不況後は新規造船の発注が無くなったため、回復の目処が立たず大幅に減少しております。反面、エネルギー関連においては中東をはじめとして石油化学プラントやLNGプラントを中心に具体性のある見積り引合いが旺盛で、来期以降に期待していた案件が前倒しで当第3四半期に一部正式受注となるなど予想以上の回復ぶりであります。

長期的戦略であるグローバル化では、ここ数年中国市場をターゲットに営業展開を拡大してきており、今後の成果に期待がもてる状況となりました。また、2010年7月稼働予定の中国子会社工場の建設も順調に進んでおります。

足元は未だ不安定ではありますが、過年度の受注残高があった事により、売上は概ね期初計画値の範囲内となりました。

BHE部門(ブレイジングプレート式熱交換器)では、受注・売上は、省エネ関連のエコキュートなどの給湯器関係は住宅着工件数の減少に伴う販売数量の低下や、景気低迷・設備投資の減少による冷凍機市場向けや産業機器向けが低調に推移したため期初計画を下回ることとなりました。

以上の結果、熱交換器事業本部の受注高は6,978百万円(前年同期比53.3%)、売上高は13,257百万円(同74.3%)、うち輸出売上高は6,138百万円(同173.8%)で輸出売上比率は46.3%となりました。

『生活産業機器事業本部』

食品・液体機器部門では、食品・液体業界自体は比較的景気に左右されない業界ではあるものの、当期においては、個人消費の低迷に加え、デフレの影響などから食品業界においても設備投資の抑制を余儀なくされる状況であり、当社の受注・売上とも非常に厳しい状況となり期初計画を下回りました。

医薬機器部門では、医薬品業界が食品業界同様景気に影響されにくい市場であり、ニッチな分野であることから、前期程度の受注は見込めるものの、売上については当期売上アイテムが少なかったことから期初計画を下回りました。

染色仕上機器部門では、新興国の経済発展や自動車業界の回復により、受注は若干回復いたしました。売上については、当期売上アイテムが少なかったことから期初計画を下回りました。

以上の結果、生活産業機器事業本部の受注高は4,106百万円(前年同期比75.0%)、売上高は3,845百万円(同61.1%)、うち輸出売上高は701百万円(同80.0%)で輸出売上比率は18.2%となりました。

『バルブ事業本部』

バルブ部門においては、重点5市場(低温、チョコレート、太陽電池、2次電池、鉄鋼)への取り組みを強化し、新製品DUA Xの用途拡大提案、新市場開拓など行いましたが、国内の設備投資が減少していることから、市場縮小の影響を受け数量減と価格低下により、受注・売上とも期初計画値を下回る結果となりました。

以上の結果、バルブ事業本部の受注高は1,720百万円(前年同期比65.9%)、売上高は1,894百万円(同67.5%)、うち輸出売上高は359百万円(同65.9%)で輸出売上比率は19.0%となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における各貸借対照表項目の増減要因は次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期末の資産は46,940百万円となり、前事業年度末55,270百万円から8,330百万円減少となりました。これは主に、売上債権3,098百万円の減少及び棚卸資産4,996百万円の減少等があったことによります。

(負債)

当第3四半期末の負債は6,905百万円となり、前事業年度末15,274百万円から8,369百万円減少となりました。これは主に、仕入債務4,030百万円の減少及び短期借入金3,200百万円の減少等があったことによります。

(純資産)

当第3四半期末の純資産は40,035百万円となり、前事業年度39,995百万円から39百万円の増加となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、仕入債務の支払による支出4,030百万円や短期借入金の返済による支出3,200百万円等の減少要因があったものの、税引前四半期純利益621百万円や売上債権の回収による収入3,098百万円、たな卸資産の減少による4,956百万円等の増加要因があったことにより、前事業年度末930百万円から1,270百万円増加し、当第3四半期末では2,201百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は5,039百万円となりました。

これは主に、仕入債務の減少や法人税等の支払がありました。税引前当期純利益や売上債権の減少、たな卸資産の減少等による収入が上回ったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は285百万円となりました。

これは主に、関係会社株式の取得による支出がありましたが、有価証券売却による収入や短期貸付金の減少等による収入が上回ったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は4,054百万円となりました。

これは主に、短期借入金の返済による支出や配当金の支払による支出によります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く環境は、回復の兆しを見せつつも、円高やデフレ、ドバイショック、政情不安の観点から二番底が懸念される現在、依然厳しい状況が続くものと想定しております。

このような中、遊休状態であった淀川工場の解体を決定したことにより、平成21年11月16日付「特別損失の計上及び平成22年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて、売上高25,000百万円、営業利益1,600百万円、経常利益1,800百万円、当期純利益600百万円とする業績予想を発表しております。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(一般債権の貸倒見積額の算定方法)

当第3四半期会計期間末の一般債権に係る貸倒引当金は、前事業年度末に算定した貸倒実績率等から著しい変化が無いと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を用いて算定しております。

(棚卸資産の評価方法)

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価の切下げを実施しております。

(固定資産の減価償却費の方法)

減価償却の方法として定率法を採用しているものについては、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,201,158	930,510
受取手形及び売掛金	7,067,907	10,166,660
有価証券	—	500,000
製品	30,141	61,772
半製品	1,645,593	3,404,062
原材料	2,437,875	5,398,412
仕掛品	1,326,725	1,535,745
貯蔵品	94,063	131,038
繰延税金資産	775,832	904,510
その他	1,125,822	982,441
貸倒引当金	△20,000	△20,000
流動資産合計	16,685,121	23,995,153
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	9,921,295	11,016,043
機械及び装置(純額)	3,178,897	3,699,895
その他(純額)	2,080,556	1,828,682
有形固定資産合計	15,180,749	16,544,622
無形固定資産		
ソフトウェア	79,916	104,213
その他	12,781	—
無形固定資産合計	92,697	104,213
投資その他の資産		
投資有価証券	12,453,019	12,098,571
その他	3,198,618	3,147,083
貸倒引当金	△669,730	△618,946
投資その他の資産合計	14,981,907	14,626,708
固定資産合計	30,255,354	31,275,544
資産合計	46,940,475	55,270,698

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,557,247	7,587,755
短期借入金	1,600,000	4,800,000
未払法人税等	—	603,535
未払消費税等	314,453	—
製品保証引当金	55,800	113,900
賞与引当金	213,696	640,000
その他	942,237	1,431,054
流動負債合計	6,683,433	15,176,246
固定負債		
退職給付引当金	186,979	—
その他	34,770	98,642
固定負債合計	221,749	98,642
負債合計	6,905,183	15,274,888
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,000	4,150,000
資本剰余金	8,814,450	8,814,450
利益剰余金	26,832,860	27,243,450
自己株式	△237,704	△232,790
株主資本合計	39,559,607	39,975,110
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	469,233	7,833
繰延ヘッジ損益	6,451	12,866
評価・換算差額等合計	475,684	20,699
純資産合計	40,035,292	39,995,810
負債純資産合計	46,940,475	55,270,698

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	26,936,628	18,998,332
売上原価	20,655,585	15,520,273
売上総利益	6,281,042	3,478,058
販売費及び一般管理費	2,639,349	2,116,538
営業利益	3,641,692	1,361,520
営業外収益		
受取利息	178,054	105,809
受取配当金	163,669	127,086
有価証券売却益	2,660	—
その他	53,762	28,975
営業外収益合計	398,147	261,870
営業外費用		
支払利息	41,313	8,306
休止固定資産維持費用	62,879	68,377
その他	6,392	14,870
営業外費用合計	110,584	91,554
経常利益	3,929,255	1,531,837
特別損失		
固定資産除却損	233,105	726,418
新工場竣工式典費用	46,402	—
有価証券評価損	1,517,475	133,800
貸倒引当金繰入額	—	50,000
特別損失合計	1,796,983	910,218
税引前四半期純利益	2,132,272	621,618
法人税、住民税及び事業税	1,434,000	208,000
法人税等調整額	△56,221	△20,512
法人税等合計	1,377,778	187,487
四半期純利益	754,493	434,130

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,132,272	621,618
減価償却費	1,630,069	1,418,560
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,402	50,784
製品保証引当金の増減額(△は減少)	9,700	△58,100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△380,145	△426,304
受取利息及び受取配当金	△341,724	△232,895
支払利息	41,313	8,306
為替差損益(△は益)	680	410
有価証券評価損益(△は益)	1,517,475	133,800
有価証券売却損益(△は益)	△2,660	—
固定資産除却損	233,105	726,418
売上債権の増減額(△は増加)	△1,326,722	3,098,752
たな卸資産の増減額(△は増加)	△183,733	4,956,237
仕入債務の増減額(△は減少)	1,549,770	△4,030,508
未払消費税等の増減額(△は減少)	—	342,903
その他	△1,432,934	△616,628
小計	3,451,867	5,993,355
利息及び配当金の受取額	342,191	233,628
利息の支払額	△41,313	△8,306
法人税等の支払額	△1,605,001	△1,179,247
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,147,744	5,039,430
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	—	500,000
固定資産の取得による支出	△2,305,821	△475,892
固定資産の売却による収入	34,398	2,000
投資有価証券の取得による支出	△201,389	△6,213
投資有価証券の売却による収入	3,487	300,000
関係会社株式の取得による支出	—	△717,320
短期貸付金の増減額(△は増加)	△158,000	237,000
長期貸付けによる支出	△80,000	—
その他	△230,658	446,061
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,937,982	285,635
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,784,601	△3,200,000
自己株式の取得による支出	△32,246	△4,914
配当金の支払額	△1,007,553	△844,719
リース債務の返済による支出	—	△4,373
財務活動によるキャッシュ・フロー	744,801	△4,054,007
現金及び現金同等物に係る換算差額	△680	△410
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△46,116	1,270,647
現金及び現金同等物の期首残高	70,607	930,510
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,490	2,201,158

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

・セグメント情報

部門別売上高明細表

(単位：百万円未満切捨て)

項目	前第3四半期		当第3四半期		増減金額	前年同期比	(参考) 前事業年度	
	平成20年4月～平成20年12月	平成21年4月～平成21年12月	金額	構成比			平成20年4月～平成21年3月	金額
熱交換器	(3,531)	(13.1 %)	(6,138)	(32.3 %)	(2,606)	(173.8 %)	(5,096)	(14.5 %)
	17,832	66.2	13,257	69.8	△ 4,574	74.3	23,157	66.0
生活産業機器	(876)	(3.3)	(701)	(3.7)	(△ 175)	(80.0)	(1,009)	(2.9)
	6,298	23.4	3,845	20.2	△ 2,452	61.1	8,438	24.0
バルブ	(544)	(2.0)	(359)	(1.9)	(△ 185)	(65.9)	(676)	(1.9)
	2,805	10.4	1,894	10.0	△ 910	67.5	3,496	10.0
合計	(4,953)	(18.4)	(7,198)	(37.9)	(2,245)	(145.3)	(6,781)	(19.3)
	26,936	100.0	18,998	100.0	△ 7,938	70.5	35,092	100.0

(注) () 内は輸出額で内書であります。

受注高及び受注残高

(単位：百万円未満切捨て)

項目	前第3四半期		当第3四半期		増減金額	前年同期比	(参考) 前事業年度		
	平成20年4月～平成20年12月	平成21年4月～平成21年12月	金額	構成比			平成20年4月～平成21年3月	金額	構成比
受注高	熱交換器	(2,854)	(13.5 %)	(2,049)	(16.0 %)	(△ 805)	(71.8 %)	(3,146)	(12.2 %)
		13,100	61.8	6,978	54.5	△ 6,122	53.3	15,691	61.0
	生活産業機器	(872)	(4.1)	(651)	(5.1)	(△ 221)	(74.7)	(858)	(3.4)
		5,476	25.9	4,106	32.1	△ 1,370	75.0	6,760	26.3
バルブ	(422)	(2.0)	(303)	(2.4)	(△ 119)	(71.7)	(537)	(2.1)	
	2,611	12.3	1,720	13.4	△ 890	65.9	3,278	12.7	
合計	(4,150)	(19.6)	(3,004)	(23.5)	(△ 1,145)	(72.4)	(4,542)	(17.7)	
	21,189	100.0	12,805	100.0	△ 8,384	60.4	25,730	100.0	
受注残高	熱交換器	(9,119)	(44.7)	(3,757)	(35.5)	(△ 5,361)	(41.2)	(7,846)	(46.8)
		17,501	85.8	8,487	80.2	△ 9,014	48.5	14,766	88.0
	生活産業機器	(220)	(1.1)	(23)	(0.2)	(△ 196)	(10.9)	(73)	(0.4)
		2,363	11.6	1,767	16.7	△ 595	74.8	1,506	9.0
バルブ	(132)	(0.6)	(59)	(0.6)	(△ 73)	(45.0)	(115)	(0.7)	
	531	2.6	333	3.1	△ 197	62.8	508	3.0	
合計	(9,472)	(46.4)	(3,841)	(36.3)	(△ 5,630)	(40.6)	(8,035)	(47.9)	
	20,396	100.0	10,588	100.0	△ 9,808	51.9	16,781	100.0	

(注) () 内は輸出額で内書であります。